



～2023-24年度主題～
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン
 “Let Your Light Shine”
 アジア太平洋地域会長 利根川恵子 (川越C)
 “Be the light for change”
 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C)
 “Instill Confidence in our Youth”
 湘南・沖縄部長 黒川 勝
 “初心に帰り、新たな船出を踏み出そう”
 クラブ会長 今城高之
 “Enjoyment first and foremost!”
 (楽しく、何はさておき楽しく！)

2023-24年度 クラブ役員

会長 今城高之
 直前会長 辻 剛
 副会長 鈴木茂
 書記 岡田美和
 会計 横田孝久

今月の聖句

「わたしの選ぶ断食とはこれではないか。悪による束縛を断ち、軛の結び目をほどいて／虐げられた人を解放し、軛をことごとく折ること。」

イザヤ58・6

2月本例会

日時：2月23日(金) 17:00～

場所：夢Café

司会：辻 剛 受付：横田孝久

～次第～

1. 開会点鐘： 会長
2. ワイズソング・信条唱和 一同
3. 今月の聖句・祈祷 相賀C
4. 会長挨拶
5. ビジター紹介
6. 新入会員入会式
7. 協議・報告事項
8. YMCA報告
9. Happy Birthday
山添 訓 (2/17)
10. アピール・スマイル
11. 閉会点鐘 会長

※終了後、“ラ・メゾン”にて懇親会、新入会員歓迎会を行います。

<巻頭メッセージ>

旧東海道を歩く

坂口直樹

2014年春から旧東海道を歩く事を始めた。日本橋を出発点に京都の三條大橋までの492キロをできるだけ江戸時代までにできた旧東海道を歩いて行こうと決めた。特に急ぐ旅でもないの、時間のある時、良い気候の季節の時、またその



地方の美味しいものが食べられそうな季節に出かける。大概是前回の終点地点に戻りそこから再び先を歩く。無理せず1日20キロを目標に、ガイドブックを見ながら興味ある史跡に立ち寄ることもあるので15キロで終わるときも30キロ歩けたときもある。毎回新幹線と在来線を利用して出発地点に行き、在来線と新幹線を利用して横浜に帰ってくる贅沢な旅である。現在(2023年12月時点)は日本橋から約389キロ43番目の宿場町である四日市にいる。この先険しい鈴鹿峠を控えるので冬は避けている。今年の夏までに残り100キロを踏破して京都三條大橋にたどり着けるはず(?)である。

東海道は鎌倉時代からあったようだが、江戸時代に参勤交代などのためよく整備された。明治になってバイパスである国道1号線が整備された。53か所の宿場町には陣屋(大名の宿)、旅籠(一般の宿)、高札場(公的掲示板)、宿駅伝馬跡(馬のタクシー乗り場)などがあり、行く先々に目印となる常夜灯(灯笼)や1里毎の一里塚が整備された。今歩いてその面影を追いかけることができるし標識もあちこちにあり迷うことはない。多くの宿場町は現在シャッター街であり、お年寄りの多い高齢過疎地帯であると感じる。そんな街を歩きながら宿場町の栄枯盛衰に思いを馳せ、この道を歩いていた大名行列、旅人、馬や駕籠の行きする息づかいを感じながら歩く。道路沿いの家や人々の生活の様子、はたまた飼い犬の様子などからそれぞれの一生懸命の人生を想像したりもする。道々の古民家カフェで一服したり、ガイドブックで紹介されている有名うなぎ屋やうどん屋、安倍川ほとりの唯一残る安倍川餅を食べたりと汗一杯だがゆっくりとした時間が過ぎていく。

速足で歩くのは健康に良い。体重が当初に比べ5キロほど減って調子が良い。自分自身の過去・現在・未来を思いめぐらす。だから一人で歩く。一人で歩くから迷惑を掛けず自由気ままに歩ける。

話は変わりますが、最近、阿川佐和子さんと生物学者の



話(次ページへ続く)

(次ページへ続く)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

(前ページより) 福岡伸一さんの対談本を読んだ。タイトルは「センス・オブ・ワンダーを探して」(2017年)である。人間とチンパンジーの遺伝子は98%以上同じで差がない。人を人たらしめるのは、脳がこどもの時期(揺籃期)でいる時間が長い事であるらしい。思い起こせばこどもの時期は柔軟性に富み、好奇心に満ち、探索行動に興味がある時期だった。そしてこども時代の何でもないような日常の一瞬の体験がその人の一生を支え続ける人格形成になっているという。外見は老いても脳はいつまでも幼年期で何にでも興味を持ち何かを感じ取る(センス・オブ・ワンダー)習慣を継続していきたい。東海道歩きもその一環のような気がする。

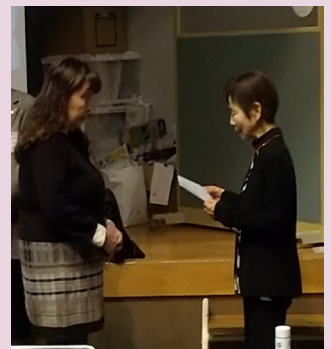
(完)



《新入会者ご紹介》 去る1月26日開催の当クラブ1月度本例会で入会式が行われた鮫嶋幸和子さんよりご挨拶の投稿があったのでご紹介します。



この度、横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブに入会させていただきました鮫嶋幸和子です。先日は、入会式を行なって下さり、ありがとうございました。心より感謝を申し上げます。私は、横浜市青葉区市ヶ尾町に、高校1年生の息子と、3歳のワンちゃん(男の子)名前は、ブラウニーの3人で住んでおります。好きな季節 春と秋、好きな色 うすむらさき色、好きなプロ野球チーム 中日ドラゴンズ。



横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブに入会させていただきましたので、自分の出来る範囲で、奉仕活動に参加させて頂ければと思っております。先輩方をお手本に、奉仕の心を育てながら、少しずつ、少しずつ、活動させて頂ければ、大きな実りとなる…と、信じております。至らないところばかりで、ご迷惑をおかけしてしまう事が多々あると思いますが、これからお世話になりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

鮫嶋幸和子

入会式風景

《第27回東日本区大会》ご案内

今年度の東日本区大会の開催要領が発表されました。日頃疎遠な東日本区のワイズ仲間が一堂に会する格好の機会ですので、是非奮ってご参加ください。

1. 日程
 - 5月31日(金) チャリティゴルフコンペと前夜祭
 - 6月 1日(土) AM 代議員会、メネットアワー、ユース他
 - PM 東日本区大会開会式、記念講演会他
 - EV 晩餐会、フェローシップ
 - 2日(日) 聖日礼拝、エキスカーション
2. 記念講演会 南極料理人 西村 淳氏
 - 1952年 北海道留萌(るもい)市生まれ。
 - 1970年 網走南ヶ丘高校卒業後 舞鶴海上保安学校へ行き海上保安官となる。
 - 1989年 第30次南極観測隊
 - 1997年 第38次南極観測隊ドーム基地越冬隊に参加。
 - 2006年 巡視船(みうら)の教官として 若き海猿たちを指導、他。
3. 開催要領 (次のURLからご覧ください)

<https://jerc2024.awe.jp/index.html>

《社協プログラム》ご案内

都筑区社会福祉協議会が実施する「ボランティア講座&交流会」の案内がありましたのでお知らせします。

- 1) テーマ: ~知的障害についてもっと知ろう
- 2) 内容
 - ①知的障害の方について(行動の意味)
 - ②コミュニケーションが難しい方への対応や心構え
- 3) 開催場所

かけはし都筑 団体交流室2AB
- 4) 日時
 - 3月16日(土)
 - 13:30~14:45 講座
 - 14:45~15:30 交流会

※クラブメンバーで参加希望者は、3月10日までに今城までご連絡ください。

《例会報告》

1月度本例会 (クラブ総会、新入会員入会式併催)

今城宏子 記

日時： 2024年1月26日 (金) 17:30~19:00

@かけはし都筑

出席： 相賀、今城T・H、大野、岡田、鴨下、坂口、

鮫嶋、鈴木K・S、辻Ta・Ts、横田

ビジター 佐藤節子 古田和彦

司会：横田孝久 受付(記録) 今城宏子

~次第~

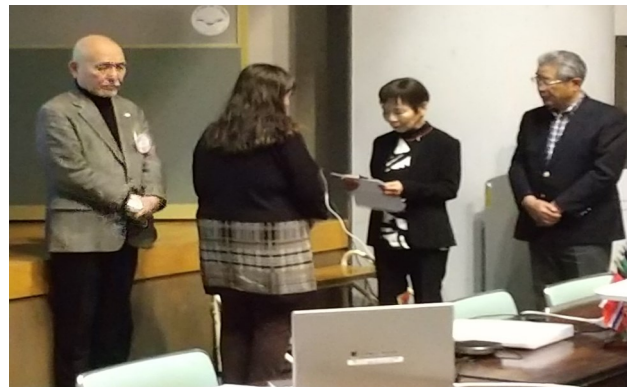
1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条唱和 一同
3. 今月の聖句と祈禱 相賀チャプレン
聖句：コリント信徒への手紙 I 16章13・14
4. 会長挨拶では、当日入会予定のロブさん、水谷裕子さんご夫妻が、ロブさんコロナ感染で翌月に延期になった旨報告。鮫嶋幸和子さん入会式に古田和彦湘南・沖縄部書記及び佐藤節子部会員増強主査た駆け付けてくれたことへの謝辞が述べられた。
5. 2023-24年度第2回クラブ総会 (議長：会長)
議案 1. 次期クラブ役員選任について (提案者：鈴木茂次期会長) 承認された。
議案 2. 次期クラブメンバー役割分担について (提案者：鈴木茂次期会長) 承認された。
6. 新入会者、鮫嶋幸和子さんの入会式が、佐藤節子湘南・沖縄部会員増強主査司式のもと行われた。(予定のロバート・エスキルドセンさん、水谷裕子さんは都合により2月に延期)
古田部書記からは、入会お祝いの言葉として「部として大きな喜び。まずは楽しくできる範囲でクラブライフを送ってほしい。ワイズの信条を大切に！」が送られ、クラブメンバー全員から大きな拍手をもって歓迎の意が表された。
7. 審議・検討・報告事項
富士山例会の再開について
・5月17日(金)-18日(土)に富士山GEVにて開催する計画が提案(往復時の観光を含む)。
・他クラブのメンバー、友人等ゲストの参加を呼びかけ、交流・懇親を行う。
・宿泊施設、レンタカー(マイクロバス)、運転者は既に仮予約済み。
・プロジェクトチームを設置し、プログラム、費用試算等の検討を行う旨会長より提案があり、一同賛成。

8. YMCA報告：鴨下北Y館長
能登半島地震被災地支援を開始。
既に、1.5避難所に5名が運営サポートに入る。
横浜YMCAは3/31まで募金活動を継続
街頭募金：2/4、2/18、3/10 (参加者歓迎)
13:00~15:00 新横浜駅頭にて

9. ハッピーバースデー：鴨下純久さん

10. アピール
・都筑防災セミナー(担当：横田さん)
2/23(金・祝) 14:00~
マンションの事例報告他
・横浜クラブ(古田さん報告) 3月例会
(3/14) 18:30 卓話：大江 浩氏「赤ちゃんの命を守る会」プロジェクトが4月からスタート。

11. 閉会点鐘： 会長
※閉会后「土間土間」にて会食・懇親の時を持った。



佐藤節子部会員増強主査の司式、古田和彦部書記立ち合いで鮫嶋幸和子さんの入会式が挙行された。



例会後、来賓を交えての記念撮影を行いました。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《例会報告》

2024年2月度事務例会

岡田 美和 記

日時：2024年2月13日（火） 17:00~19:00
 会場：夢Café
 司会：今城高之会長 報告：岡田美和書記
 出席者：今城T、大野、岡田、鴨下、坂口、
 鈴木K・S、辻Ts、横田（9名）

1. 開会点鐘・黙祷 会長
2. 会長挨拶 会長
3. 審議・検討・報告事項
 - 1) 2月度本例会について 2月23日（金・祝）
 17:00~19:00 @夢Café
 司会：辻剛 受付：横田孝久 プリテン3月号
 頭言：山添 訓
 ※当日はクラブのピンクシャツデイとしますので、次各自
 ピンクの物を身につけてご出席ください。
 新入会者の入会式について
 新入会者：ロバート・エスキルドセンさん
 水谷裕子さん
 懇親会：センター北「ラ・メゾン」予定
 - 2) 横浜北YMCA交流会について
 （鴨下館長提案）
 3月9日（土） 18:30~20:30
 会場「花の舞 菊名西口店」
 対象者 横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ・
 横浜つるみワイズメンズクラブ
 横浜北YMCA運運営委員
 横浜北YMCA職員 等計30名
 会費 4,000円
 - 3) 3月度本例会について
 日時：3月22日（金） 17:30~
 場所：かけはし都筑
 司会：大野君枝 受付：坂口直樹
 プリテン4月号巻頭言：鈴木恭子
 卓話者：前山匡洋さん
 懇親会会場は未定
 - 4) 4月度本例会について

- 4月26日（金） 17:30~@かけはし都筑
 司会：鴨下純久 受付：大野君枝
 プリテン5月号巻頭言：今城宏子
- 5) 富士山例会
 日時：5月17日（金）~18日（土）
 @富士山YMCA・GEV
 会長提案の素案をベースに概要につき意見交換
 した。会費16,000円として関係先への参加勧誘を
 開始する。
 ・準備委員会を設置してプログラムの詳細を検討
 委員：今城H・T、大野、鈴木S、横田
 - 6) 6月度本例会
 日時：6月28日（金） 17:30~@
 場所：かけはし都筑
 司会：岡田美和 受付：鈴木恭子
 プリテン6月号巻頭言メッセージ：鴨下純久
 （その他の予定）
 2/23（金・祝） 2月度本例会 7:00~19:00
 @夢Café（ピンクシャツデイ）
 3/5（火） Y-Y's 協議会
 3/12（火） 3月度事務例会 17:00~19:00
 @夢Café
 3/12（火） ふれあい助成金説明会
 @かけはし都筑
 3/16（土） 13:30~ @かけはし都筑
 ボランティア講座&交流会
 ~知的障がいについてもっと知ろう~
 2/27（火） 18:30~19:15 @田園江田教会
 ウクライナ人道支援コンサート
 - 7) その決定事項
 クラブとして能登地震支援をYMCA同同盟へ1万円
 を献金をする。
4. 黙祷・閉会点鐘
 ※閉会後は有志による会食会を行った。

(1月のデータ)



例会出席	15名	在籍会員数	16名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	13名	月間出席者数	13名	スマイル	0円	27,153円
ビジター	2名	メキップ	1名	—	—	—
ゲスト	名	月間出席率	87%	—	—	—

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《イベント報告》 2023年度横浜YMCA会員大会「ピースフォーラム」報告

今城 宏子 記

日時：2024年2月12日（月・休） 10:00～12:30

会場：横浜とつかYMCA（オンライン配信併用）

開会礼拝（オープニング）

● 聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 8章11節

「今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思った
とおりに、自分の持っているもので、やり遂げることで
す。」（2023年度横浜YMCA基本聖句）

● お祈り 会員事業委員長 古賀健一郎

● 理事長挨拶 横浜YMCA理事長 工藤誠一

● 特別講演 講師：桃井和馬氏（恵泉女学園大学
人文学部教授 写真家 ノンフィクション作家）

「戦争」・「平和」・「未来」の作り方

～ウクライナ戦争から、パレスチナ・イスラエル戦争、そ
して地球環境を考える～

※注「」内は講演テキストからの引用

「第一章：未来への教育」大学から保育園などの教育の
現場におられる経験から次のことを示された

「教育は社会にとって、もっとも効果的な未来への投資」

「もっとも効果的な健全社会への投資」

「どんなに時代が変わろうとも本物の保育・教育がマニ
ユアルなき世界を生き抜くための力！になる」

「自分の頭で考え、自分の力で、仲間と一緒に、道を
模索し、行動する力！」

パキスタン地震、内戦が続いたコンゴで行われた教育現
場やフィリピン、ハイチなどでの教育、借金が増えていく
仕組みがおかしいと考える知識が必要であることなどが
多くの写真を通して示された。

さらに、地層の変動（写真による説明）に伴う原発問
題に触れて、「無限に拡大する人間の欲望－それを制
御する『本物の知恵』」が求められる。

「第二章：『火に油を注ぐ』戦争の原因についての知識
が図で示された。

「火：土地（領土）食料 水 資源」介在するお
金？「油：民族・国家 宗教 音楽・スポーツなど」

熱帯雨林の伐採、ヤシ油のための搾取、土壌の破
壊、食料をめぐる紛争など写真によって示された。

「第三章：ウクライナとパレスチナ」

ロシアが狙っている理由は次の4つ。

①ウクライナには食料がある②資源がある③不凍港
がある④地政学的要塞がある」図により解説。

「パレスチナは『乳と蜜の流れる地』旧約聖書に23回
登場」「パレスチナ（イスラエル）は交易の要所だっ
た。パレスチナ（イスラエル）には水がある。つまり今

の戦争も、地球環境と密接に関係している」

「最終章：世界へ、地球へ、未来へ！」

グレタ・トゥンベリさんの国連でのスピーチ動画、IPCCの
メッセージの動画が放映された。

SDG s のウエディングケーキモデルが示され、いちばん大
切な4つの目標は6, 13, 14, 15であると示さ
れた。「無限に拡大する人間の欲望を制御する『本物の
知恵』が必要な時代を迎えている！」

最後に「明日、世界が終ろうとも、今日、私はリンゴの木
を植える」マルティン・ルターが示され、2020年4月コロナ
禍の不安の中、アンドレ・ボツェリ氏がミラノ大聖堂前で
独唱したAmazing Graceの動画が放映され、講演が
終了となった。

● 広島ピースキャンプ報告

YMCA学童クラブ、放課後児童クラブ、放課後キッズク
ラブの4.5年生の児童による報告がされた。

日程の紹介、訪問した場所（原爆ドーム、相生橋、平
和記念公園、平和記念資料館、本川小・袋町小の
平和資料館、被爆者講和など多くの体験を写真を交
えて説明された。体験を通して決意が語られた。

・人が嫌がることをしない・ケンカしない・暴力・暴力的な
言葉を使わない・困っている人を助ける

・いじめをなくす・世界中、仲良く！（要点のみ記載）

● ウクライナ・能登半島地震支援報告

YMCA維持会員のご案内（維持会員の活動動画が
流された）

● 感謝の言葉 横浜YMCA総主事 佐竹 博

● 交読 横浜YMCA－私達の使命－

今回当クラブから会員事業委員の今城宏子、鈴木茂、
横田孝久の3名が司会を担当させて頂きました。



以上

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

「フレイル対策 後押し」、2月2日（金）の神奈川新聞に大きな見出しが書かれていました。2024年に横浜市の介護予防事業として、加齢に伴う心身の機能低下への対策として、要介護の一步手前の状態になるフレイルの高齢者に、個人の状態に応じて介護予防サービスを提供する取り組みが、南区、栄区、泉区で開始されるようです。

フレイル予防には運動、社会参加、栄養改善、口腔機能の向上の4つの柱が重要とされており、保健師や栄養士などの専門職による定期訪問や運動の維持に向けた教室の開催、社会参加への機会として、「通いの場」への参加を促す取り組み等を行うと書かれていました。

現在、横浜北YMCAの成人プログラムに参加されている方々の平均年齢は60歳で、90歳台の方も3名参加されています。運動プログラムには週1回から毎日参加されている方がおり、皆さんとても元気です。社会参加への取り組みは、コロナ明けから、大人の方のキャンプやハイキングなどを開催し、意図的に交流の場を増やしはじめました。

私が北米YMCAの研修に参加した際、YMCAの会館内には様々なボランティアの方がいました。高齢者の施設に編み物を届けるボランティアグループ、ゴルフキャンプでゴルフの指導をするレイパーソン、YMCAの施設に初めて足を運

んだ方に、館内を案内するボランティア、成人会員の方が更衣室のロッカーを使用する時に鍵の受け渡しをするボランティア等、ひとり一人の個性が活かされていました。

現在、横浜北YMCAでは、ボランティアのプログラムを生み出すことが課題であると感じています。横浜北YMCAが「憩いの場」となり、元気な高齢者が益々元気になる施設であるよう、高齢者へのプログラムの充実を図っていきたく思います。 (完)



《1月のTKB》

梅の花がほころび始めたのを機に、昨年秋から取り組んできたウクライナ避難民の方々へ、温かい手編みのマフラーや帽子をお届けするプログラムをいったん閉じることとし、各方面から献品して頂いた毛糸や生地を、日本YMCA同盟のウクライナ避難民ご担当のセクションに移管し、手芸好きのウクライナの方々が集う「手芸部」で使っていただくよう手配しました。まだ若干残る毛糸などの材料も、横浜のウクライナ避難民の方々が集う「みどりクラブ」にお引渡しする予定です。1月のTKBお仕事会では、本来の、宮城県山元町の施設にお送りするバーステーカー作りにも励みました。 (了)

●◎◎編集後記◎◎●

▼1月の例会報告には「一挙3名の入会式挙行！」の文字が躍るはずであったが、につききコロナのためにロブさんと水谷裕子さんの入会式は2月に延期となりました、残念ではあります。二カ月続けての入会式は嬉しい限りです。▼1月の本例会の際に開催したクラブ総会で、次年度のクラブ役員が決まりました。鈴木会長（次期）をはじめ新役員の皆さん、宜しくお願ひします。特に、比較的最近入会の坂口さん（次期副会長）、大野さん（次期書記）には期待が集まります。▼早いもので、今年度の区大会の案内が寄せられました。初夏の北海道はきつとずばらしいに違いないと思ひます。▼先月号で案内を掲載したので今号では触れてませんが、3月の例会では前山匡洋さんの卓話があります。永年、テレビの番組編成に携わられた方なので、興味深いお話が伺えるものと期待します。▼当クラブでは例会時の卓話者を募っています。何方か良い方がおられれば是非ご紹介ください。

(編集子)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”